

中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

* 毎月 1 回、定期的に中国より配信致します。

【政治・経済】

- **第 15 回中国航空ショーの契約額が 2,800 億元超 低高度航空機に注目**：第 15 回中国国際航空宇宙博覧会（中国航空ショー）が 17 日、広東省珠海市で閉幕した。今回の航空ショーで総額約 2,856 億元（1 元は約 21.3 円）の協力合意、そして各種航空機 1195 機の売買契約が締結された。今回の航空ショーでは電動垂直離着陸機（eVTOL）、ドローン、未来向けの新しい構造の航空機など、革新的な低高度航空機が注目を集めた。吉利科技集団傘下の沃飛長空科技（成都）有限公司は今回のショー開催期間中、ローターを機体に対して傾けるタイプのティルトローター機「AE200」の量産構造を発表し、この世界トップレベルの eVTOL を科学研究の段階から量産の段階へ正式に移行させ、2025 年に有人テスト飛行を行う計画であることを明らかにした。沃飛長空の郭亮最高経営責任者（CEO）兼チーフサイエンティストは、「市民が空飛ぶクルマへの乗車を体験できるようになるまで、もうそれほど遠くはない。AE200 は 2026 年前後にはいくつかの固定航空路線での小規模な搭乗から体験できるようになるだろう」と述べた。今回の航空ショーでは、中国航空工業集団傘下の中国特殊航空機研究所が独自に開発した有人飛行船「祥雲」AS700 が会場で 10 機を受注し、164 機の意向表明書を受けた。（11/18 人民網）
- **2024 年世界インターネット大会にハイテクが集結 AI が日常生活へ**：2024 年世界インターネット大会烏鎮サミットが浙江省烏鎮で開催されている。360 社余りの企業が人工知能（AI）のアルゴリズム・モデル、データ計算力、シーンへの応用、および低空域飛行活動による経済形態「低空経済」、スマートコネクテッドカー、デジタル農村、サイバーセキュリティなどのテーマ展示エリアにおいて、AI の先端技術と最新の応用成果を展示している。こうした成果は消費、教育、娯楽、文化クリエイティブ、金融、交通など日常生活のさまざまな分野に関わるものだ。（11/21 人民網）
- **第 2 回中国国際サプライチェーン促進博覧会が開幕 海外出展企業が 32%に**：第 2 回中国国際サプライチェーン促進博覧会が 26 日、北京市で開催した。今回の博覧会は展示ブースの配置と展示エリアの設置において「チェーン式」の考え方をより強調し、プロセス全体を通じて各チェーンの上流・中流・下流の重点段階を展示すると同時に、成果発表などの面でも多くのイノベーションを打ち出した。中国国際貿易促進委員会の張少剛副会長は、「今年の第 2 回サプライチェーン博には合わせて 620 の企業と機関が出展し、前回より 20%増えており、海外からの出展企業の割合は第 1 回の 26%から 32%に上昇した。このことから、国際社会が産業チェーン・サプライチェーンでの協力を大きな期待を寄せていることがわかり、また各国企業が中国の発展に信頼を寄せ、この博覧会に信頼を寄せていることも物語っている」と述べた。（11/26 人民網）

【製造業関連・関連の政策等】

- **1-10 月の中国自動車生産・販売、それぞれ 1.9%増、2.7%増**：中国自動車工業協会が 11 日に明らかにしたところによると、今年 1-10 月には、中国の自動車の生産台数が前年同期比 1.9%増の 2,446 万 6,000 台、販売台数が同 2.7%増の 2,462 万 4,000 台に達した。生産・販売共に安定的な増加傾向を保

った。同協会の陳士華副事務局長は、「10 月に入ると、国の買い替え政策の自動車消費に対する牽引効果が明らかになり、複数の地域ではモーターショーや販売促進イベントが盛んに行われ、自動車メーカーは新車種を相次いで市場に投入してきた。こうしたことが自動車市場の持続的な上昇傾向を推進した。10 月の中国の自動車の生産台数は前月比 7.2%増、前年同期比 3.6%増の 299 万 6,000 台、販売台数は前月比 8.7%増、前年同期比 7%増の 305 万 3,000 台だった」と説明した。同協会のまとめたデータを見ると、1-10 月の中国の新エネルギー自動車の生産台数は前年同期比 33%増の 977 万 9,000 台、販売台数は同 33.9%増の 975 万台となり、新エネ車の新車販売台数が自動車全体の販売台数に占める割合が 39.6%に達した。(11/12 人民網)

- **中国の PMI が「景気拡大」示す 50.1%に上昇 安定して回復する中国経済**：中国国家统计局がこのほど発表した統計によると、10 月、中国の製造業の購買担当者景気指数 (PMI) は 50.1%と、「景気拡大」を示す 50 を再び上回った。前月比では 0.3 ポイント上昇し、ここ 6 ヶ月で最も高くなった。経済が継続的に回復する流れが目立つようになっている。(11/12 人民網)
- **2024 長江デルタ都市レジヤータ化指数が発表 上海・杭州・蘇州・南京・寧波が上位 5 都市に**：「第 9 回中国レジヤータ・観光発展フォーラム並びに 2024 長江デルタ都市レジヤータ化指数発表会」が 15 日に行われた。発表された都市レジヤータ化総合指数を見ると、上位 5 都市には上海、杭州、蘇州、南京、寧波が並んだ。報告によると、上海を除くベスト 5 入りした都市は、長江デルタ地域で相対的に経済が発達した都市であるため、その都市のレジヤータがどれくらい発展しているかを示す都市レジヤータ化発展レベルが相対的に高く、経済とレジヤータの歩調を合わせた発展という特徴がうかがえる。6-10 位に並んだ無錫、温州、紹興、合肥、嘉興の 5 都市は、経済発展の基礎がしっかりしているだけでなく、優れた文化観光資源も擁しており、文化と観光の融合プロセスの中で積極的に探求を行い、都市のレジヤータの発展にサポートと保障を提供していることから、長江デルタの都市でレジヤータ化発展レベルが相対的に上位の都市になった。11-15 位になった滁州、宿州、亳州、阜陽、淮北の 5 都市は、都市のレジヤータの包括的な発展がある程度限られているため下位となった。今後は長江デルタ一体化プロセス構築による発展の波及効果を活用し、後発の優位性を発揮し、レジヤータ発展の質を向上させる必要がある。(11/18 人民網)
- **中国 1-10 月の輸出入総額が前年比 5.2%増 質の向上・量の安定の流れを維持**：税関がまとめたデータによると、今年に入ってから、中国の対外貿易は圧力に耐え抜き、高い強靱性を示してきた。1-10 月期の対外貿易輸出入総額は前年同期比 5.2%増の 36 兆元 (1 元は約 21.3 円) に上った。対外貿易の新たな原動力の育成が加速し、国際市場でのシェアが持続的に増加し、世界の輸出成長に対する中国の寄与度は 1 位となっている。中国の対外貿易の発展は全体的に質が向上し量が安定するという良好な流れを維持した。(11/25 人民網)

【トピックス】

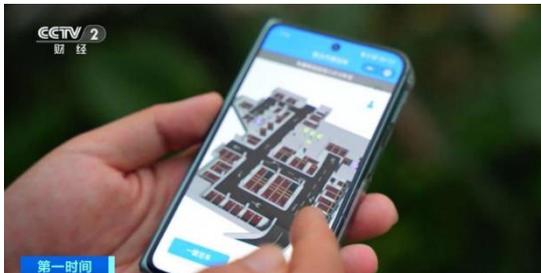
- 1、**BYD の新エネ車 1,000 万台がラインオフ 世界初**：比亞迪 (BYD) が 18 日に明らかにしたところによると、同社はラインオフした新エネルギー自動車が世界で初めて 1,000 万台に達した自動車メーカーになったという。比亞迪には現在、研究所が 11 ヶ所あり、エンジニアは 11 万人に上る。今後はスマート化の面で投資を拡大する予定だ。同社の会長兼総裁の王伝福氏は、「これから 1,000 億元 (1 元は約 21.3 円) を投入し、人工知能 (AI) と自動車が融合したスマート化技術の発展を図り、完成車の全面的なスマート化を実現する」と述べた。(11/19 人民日報、人民網)



2、万里の長城でデリバリーを頼むとドローンが配達：八達嶺長城（万里の長城）の望楼「南五楼」で、観光客の王さんがスマートフォンを取り出し、QRコードをスキャンして商品を注文すると、すぐに荷物ボックスを積載した黄色い小型ドローンが飛んできて、ゆっくりと着地した。王さんは「長城でこんなに気軽に食事が注文できるなんて思い

もしなかった。これからは食べ物を背中に背負って運ぶのに四苦八苦しなくてよくなる」と語った。八達嶺長城だけでなく、八達嶺空港でも空中遊覧、スカイダイビング、パラモーター、低空域体験など、低空域観光の新しいプログラムを次々に打ち出し、観光客に多様な選択肢を提供している。今年の夏休みシーズン中、北京市延慶区は八達嶺空港を拠点に低空域観光消費シーズンイベントを行い、同区が受け入れた観光客は累計で前年同期比 260%増の延べ 6,000 人以上に達し、5 年近くぶりに記録を更新した。(11/19 人民日報、人民網、写真は CCTV-4 ニュース画面)

3、ワンタップで車を自動で駐車し、再び戻ってくる？成都で中国初の区域レベル AVP 実現：四川省



成都市の自動車保有台数はすでに 600 万台を超えている。同市は現在、人工知能 (AI) と駐車を組み合わせ、中国初の区域レベル自動パーキング (AVP) のシーンを作り出し、駐車場を本当の意味で活用できるよう取り組んでいる。成都ハイテクパーク 5G インターネットテクノロジーイノベーションパーク内の AVP シーン実証実験場では、スマホ、車載システム、駐車場の

設備が連動しており、スマホのアプリをタップするだけで、車が自動で最適の走行経路を選んで、駐車場に駐車してくれる「ワンタップ駐車」を実現している。さらに、自動で駐車された車は、「ワンタップ呼び出し」をタップすれば、自動でユーザーのいる場所まで走行してくる。成都市のあるテクノロジー企業の張偉華副総経理率いるチームは、モノのインターネット (IoT)、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、人工知能 (AI) といった技術を駆使して、駐車場資源のスマート化管理と最適化を実現し、中国初の区域レベル AVP を実現した。(11/27 人民網、写真は CCTV-2 ニュース画面)

4、中国初の国家級陸上シェールオイルモデルエリアの年内生産量が 100 万トンを突破：中国初の国家級陸上シェールオイルモデルエリアである、新疆吉木薩爾国家級陸上シェールオイルモデルエリアの 26 日までの年内の生産量が 101 万トンを超えた。これにより中国で初めて年間生産量が 100 万トンを超えた国家級陸上シェールオイルモデルエリアになった。(11/27 中国新聞網、人民網)

【輸入博出展日本企業、開放的な中国市場でチャンス共有】

第 7 回中国国際輸入博覧会（輸入博）が 11 月 5 日から 10 日まで、上海で開催された。今年の輸入博には、計 129 ヶ国・地域の企業 3,496 社が参加。第 1 回から今回の第 7 回まで、輸入博は開放によるメリットを提供し続けており、日本企業にとって中国の発展の新たなチャンス共有する重要な機会となっている。(11/7 人民網)

・リンナイ：リンナイは今回、設定した水温を保つ 50 リットル大流量ハイブリッド給湯器を初公開製品として出展し、大きな注目を集めている。この製品は排出されたガスの余熱を利用することができ、エネルギー効率を大幅に引き上げ、エネルギー消費の削減と環境保護に貢献するものだ。リンナイが出資

した持株会社の広州林内燃具電器有限公司の張輝強取締役社長は取材に、「毎年、新製品と新技術をひっさげて輸入博に参加するのが、当社の年間行事になっている。『グリーン』による牽引が日増しに顕在化する状況を背景として、リンナイは技術革新を絶えず行うことを通じ、新たな質の生産力によって持続可能な開発をエンパワーメントしている」と述べた。

・**ユニクロ**：5回連続参加のユニクロは、計10種類以上の初公開・初出展の新製品を打ち出し、輸入博という場が持つ拡散効果の力を借りて、「商品」が「人気商品」になるペースを加速させている。2023年にユニクロが初めて輸入博に出展したパフテックは、24年の生産量が前年比300%以上増を実現し、秋冬シーズンによく売れる「人気商品」になった。テクノロジーのイノベーションを通じて、今ではリサイクル可能材料がこのシリーズの製品に応用されるようになった。ユニクロは「今後は持続可能の理念と現在の消費者の生活とをより密接に結び付け、中国の消費者が素晴らしい生活を心ゆくまで享受できるようサポートしていきたい」としている。

・**三菱電機**：中国に進出して46年になった三菱電機にとって、中国市場は最も重要な市場の一つ。三菱電機株式会社国際本部中国総代表の小柳津裕氏は取材を受けた際、「中国政府が外資の市場参入条件を改善し続けることは、外資系企業により広大な市場空間と成長チャンスを提供することを意味する。今年、三菱電機は大連で自動化設備生産工場を建設し始め、2025年に稼働を開始する計画だ。今後、三菱電機は中国の開放政策を積極的に検討し、十分に活用して、中国における事業のさらなる発展を促進していく」と述べた。

【イベント】

【出展募集中】FBC 広州 2025in GIT 工業展 & Asiamold 金型展 2025年2月25-27日 広州中国輸出入商品交易会展示館

【出展募集中】FBC 深セン 2025 in ITES 工業展 2025年3月26-29日 深セン国際会展中心

* (公財)大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。特別価格で出展可能です。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技（上海）有限公司）

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2 階 268 室